

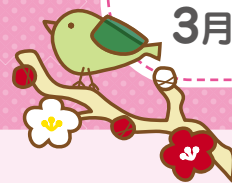
人づくり まちづくり 情報誌

No.

67

平成30年(2018)  
3月15日号

# あくていぶ



わがまちたかつき  
切り絵紀行

「大鳥居のある街～天神町」

切り絵 作：生地 高芳(高槻市在住)

特集

## LGBTを考える(後編)

「あくていぶ」は行動的、活動的な心と心のふれあいを求めて名づけられました

# LGBT (後編) を考える

～性的指向や性自認を理由とする差別や偏見をなくすために～



いろんな人がいて、いろんなあり方があるからこそ、私たちは豊かに生きられる。

LGBT〔性的マイノリティ(=少数者)のあり方の総称〕は、国内の人口の7.6%(電通ダイバーシティ・ラボのLGBT調査2015より)、左利きの人や、AB型の人口とほぼ同じといわれています。特別なことではなく、普通に自分らしく生きているのに、誤解や偏見により、私たちが気づかないことで当事者を苦しめているかもしれません。

前号では、幼少期に男や女という性別に疑問を感じ、子ども時代は学校と家庭がほぼすべてという狭い人間関係のなかで、友達や周りの大人のいじめや偏見と向き合ってきた方の投稿を掲載しました。今号は、その続きとして、大人になった今を生きることをお伝えします。

前回、僕はLGBTのいずれのあり方にも自分を当てはめることができませんとお伝えしました。男か女に自分を当てはめても何か違う。ゲイやバイセクシュアルかと言われてもしっくりしない。心も、生き方も、好きになる相手の性別もバラバラな自分に対して、自分は一体何者なのかと常に揺れ動いてきました。小・中学生時代は、「おとおんな」「オカマ」「ホモ」と周りから言われる。でも、「テレビに登場するような人と自分は全然違うやん、なんで?」「自分のどこがそんなやろ?」とよく分からない。だから、そう言われないように振る舞い、無理をして自分を隠すように生きてきました。高校・大学時代は、露骨に差別的に言われることはなかったのですが、それでも、自分のセクシュアリティ(ここでは、自分の性別をどのように認識しているか、恋愛感情や性的欲求の対象がどのような性別の人に向くかという意味)の部分は蓋をするように生きていました。

そうしてなんとかやってきたのですが、社会に出た後が一番悩みました。LGBTとして生きる人々に出会い、話をする機会があっても、知れば知るほど、自分に当てはまるものがなく彷徨いました。時に、「ゲイに偏見があるから、自分をゲイと認められへんのか」と言われ、居心地の悪さや誤解される不快さから、自分のことには触れないでほしいという気持ちが増すだけでした。

## 「こんな自分でもええんや」

しかし、28歳の時、「こんな自分でもええんや」と自分のことを少しずつ肯定的に思えるようになりました。それは、男性でお付き合いする人が初めてできたことがきっかけで、その時に友人や身近な人が嘸し立てることなく、あたたかく見守り、喜んでくれたことで、誰かを好きになるということを、僕自身の中で自然と素直に受け入れることができたからです。その時から、少し心が楽になり、何かに自分を当てはめなければいけないという気持ちが、その必要はなく「心も体もバラバラの自分のままでええんや」「『自分』というあり方・セクシュアリティを大切にしたら

ええ」と思えるようになりました。

現在はパートナー(彼氏や彼女、妻や夫などの言葉をつかわずに関係性をあらわせる言葉)があり、生活を共にしています。パートナーは、自分のことを男性でゲイと自認している人です。両親にはパートナーがいることを伝え、弟妹と親戚の一部はそのことを知ってくれています。僕が両親に伝えた時、父親は「ふたりで仲良くやったらそれでええ」と受容的で、母親は「何アホ言うてんの、友だちとちゃうの」と、パートナーのことは友人という認識でした。そんな母も、LGBTに関連する新聞記事を見つけると必ず切り抜いて取っておいてくれました。いろいろと考えてくれていたのだと思います。今では、母も父もパートナーのことを知ってくれて、よく電話で話したりなどして、知らないことがあるからこそ理解したいと言ってくれています。

職場の同僚や上司にも恵まれていて、僕に男性のパートナーがいることを知ってくれています。しかし、最初はパートナーがいることは話せても、それが男性であることは話せませんでした。でもそんな時、上司が「ふたりで食べや」とお菓子をふたつ渡してくれたことがあり、その言葉が何だか嬉しかったことが今も心に残っています。渋谷区のパートナーシップ証明のことが職場で話題になったこともあり、LGBTについて考えてくれている雰囲気に助けられたこともありました。

友人との関係では、伝えている人と伝えたいけどまだ伝えられていない人がいます。僕が自分自身のことやパートナーのことを話す時、改めて伝えるというよりも、普段の会話やパートナーと生きる姿を見せる中で、自然に話すことができています。でもそれができるのは、変わらない関係でいられる安心感や人として大切にされているという土台があつたことだと思います。あまり親しくない人からいきなり「○○さんって、こっち系?」「ゲイ?」と言われることもあり、そんな時はあまり良い気持ちがありません。返事に困っていると追い打ちをかけるように「『そういうの』理解あるから大丈夫」と言われることが常で、「結局そっち側とこっち側

なんかなあ」「『大丈夫』って言われなあかん存在なんや」と思い、何も言えなくなってしまう。カミングアウトという言葉も聞きますが、誰かに自分のことを話そうと思うと、やはり相手の反応が気になります。拒絶されたり、嫌な顔をされたり、キモイと言われるのではないかと脳裏を過ります。しかし、たとえカミングアウトできない相手でも、その人のことを信じて、素直に関わることが大事なのではないかと僕は思っています。

## 自分も夢もあきらめなくていい

現在、LGBTに関する情報は世間に広がっているようにも見えます。街中でも、その話題が聴こえたり、PRしていたりする場面に出会います。しかし一方で、LGBTに対する偏見、中傷や差別的言動に出会い、ドキッとすることもあります。それによって生きることが奪われ、自死を選択し、今まさにそれを実行しようとしている人もいます。

世の中は、男性と女性、異性愛、LGBTだけでなく、私たち一人ひとりのセクシュアリティがあり、いろいろなあり方や生き方があります。そして、多様なあり方が豊かにつながりを持ち、幅広く対等に存在しています。だからこそ、自分側とそうでない側という関係ではなく、LGBTの存在を特別な人と考えたり、普通や一般と

いう言葉で分け隔てたりしないこと。多様なあり方のどこかに自分も存在しているのだという視点を大切に、私たちが人間として豊かに支え合い生きられていることを忘れないでほしいと思っています。自分のセクシュアリティを理由に、自分の存在が奪われることなく、自分も相手もありのままに素直に大切にされ、この世界に存在する一人としていられる社会。自分自身や自分の夢をあきらめることなく暮らせる社会であつたらと願っています。

「身の傷み 一瞬のもの 治りけるが 心の傷は 消ゆることなく」薬害エイズ被害で亡くなった岩崎孝祥さんが高校2年生の時に詠んだ短歌です（文集「心象風景」より）。僕が自分のことを受入れられるまでは、先生やおとなからの言葉・体験は、ずっとヒリヒリと残り、赤く腫れあがったままでした。忘れることはできませんが、今ではすべて必要な体験と出会いであり、自分を構成している大切な一部になっています。それがあつたからこそ、自分を見失わずに生きてこられたと思います。また、厳しい体験の中でも、常に自分を支え助けてくれる存在がそばにいてくれたこと、そして、今も心の中にいてくれていることで自分が生かされているのだと思います。

人から受けた傷みは、必ず人が解決してくれる。そう信じています。

一般社団法人高槻市人権まちづくり協会では、LGBTをはじめ様々な人権課題について、啓発活動を行っております。今後の参考のため、皆様のご感想やご意見などお寄せください。

## 同性のパートナーとの生活は社会的にまだまだ困難な状況があります

### 結婚

日本では、同姓婚は認められていません。結婚式自体は法的な関係を結んでいなくても挙げられますが、式場は限られます。

### 住宅探し

同性どうして一緒に暮らすことについて、不動産屋さんや大家さんによっては拒否されたり、二人の関係について根掘り葉掘り聞かれたりすることもあります。また、連帯保証人が必要な場合、家族に自分のことを知られることになり、困ります。二人で住宅を購入するにしても、法的な関係を結べないので、名義や相続についても課題になります。

### 医療現場

たとえ家族同然のパートナーであっても、病状や治療説明を受けられない、臨終の立ち会いができない、手術の同意書にサインできない、事件・事故時や亡くなった時に連絡されないといったことがあります。

### 福利厚生

配偶者がいる場合に適用される福利厚生は適用されません。申請することができる職場があつたとしても、認識がなければ、同姓パートナーがいることを打ち明けるハードルは高いです。

### 老後

自分やパートナーの介護、入院・療養時の病院や介護施設の対応はどうなるのか、判断能力が低下したときの財産管理や契約関連、生活はどうするのか、といった課題があります。

### 死後

葬儀や相続、遺産整理、お墓などに関わることがあります。家族に理解がなければ、残されたパートナーが家族と同様の立場でそれらを行うことは難しいでしょう。葬儀にも一般や友人として参列するしかないか、参列できないという悲しい現実もあります。

あちこち訪問

# 人権フィールドワーク 「伏見・中書島コース」

現地を訪ね、その歴史や人々の暮らしなどを見学しながら人権について学ぶ「人権フィールドワーク」。「穀雨企画室」第3弾、代表 渡辺 毅さんに「伏見・中書島コース」を案内いただきました。

## 歩いたコース

中書島界隈→長建寺→濠川に沿って→寺田屋→伏見酒蔵街→油掛地藏・電気鉄道事業発祥石碑



かつての建物の面影が今も残る(2階部分のみ)

江戸時代は大阪と京都を結ぶ淀川水系、濠川あたりはその地の利から京都の玄関口として栄え、問屋や宿が建ち並んでいる。

「色を売る花街」だった中書島を歩く。かつて京の七花街の一つとして賑わった遊郭街の面影を僅かに残しながら、スナック、銭湯、デイサービスと「今」を生きている。駅近くの長建寺を訪れた。京都で唯一ご本尊が辨戔天という珍しいお寺で、独

特の形をした赤い竜宮門をくぐると、その庭の片隅に「マリア灯笼」がひっそりたたずんでいた。もとは「紅屋」というお茶屋の隠れ座敷にあったもの。その近くにキリシタン大名高山右近の屋敷があったのも高槻となにか縁を感じる。この場所に身を置かざるを得なかった遊郭で働く女性たちの信仰を集め、抑圧された名もなき女性たちに思いを馳せた。



石灯笼の下部に聖母マリアの姿が…

## 参加者の感想

中書島で電車を降りた。駅前はどここの街でも見られる飲食街、花街として賑わった景色は家の佇まいに、わずかに残っていた。小説や映画などの世界を実感し、そこで働かなければなかった女性たちへの思いで胸が熱くなった。

伏見の街をそぞろ歩いている私たちに、初老の男性は広い空き地の脇に自転車をとめて、ここが坂本竜馬の家だったと話しかけてこられた。空き地の片隅に石碑が建っていて、そのことがうかがえた。この街に住む人たちも、幕末の動乱が伏見の街で繰り広げられ、日本の歴史が動いた一つとして誇りを持っておられるのかも…。

京都に生まれ、京都育ちの姑の「察しの文化」が性に合わず、思えば長い間、あえて京都を避けてきた私。

「穀雨企画室」に出会って、歩いてあるいて、おろかだった自分を反省し、かたくなだった心が「雪解け」していくのが嬉しい。

京都の魅力に触れ、姑の気持ちが理解できるようになって、ささやかな「私の人権知識」に「ゆるぎなきもの」が加わった。

渡辺さんの持論「心の底にある根に気づき直すことが最も大切」——感謝です。

# 地域が元気でいきいきと

高槻市人権まちづくり協会では、人と人とのつながりを大切に、中学校区ごとに地区単位会を設置し、地域のさまざまな団体と連携しながら、人権講座や研修会の開催など市民が中心の草の根人権啓発活動によるまちづくりに取り組んでいます。



## 平成29年度 単位会合同バス研修を実施

中学校区単位会名 (合同)	主な視察研修先
一中、六中、冠中	あいとうふくしモール (滋賀県東近江市)
四中、芝谷中、 如是中	船松人権歴史館 (大阪府堺市)
三中、八中、川西中、 未組織校区	平和祈念館 (滋賀県東近江市)
二中、九中、 阿武野・阿武山中	羽曳野人権 文化センター 他 (大阪府羽曳野市)
七中、十中、城南中	堺市利晶の杜 他 (大阪府堺市)

### 参加者の 声より

堺市に向かうバスの中で、石上露子さんや与謝野晶子さんの話を聞いた。二人が当時、反戦歌を詠んだときいて驚いた。

フィールドワークというものに初めて参加した。畜魂碑にお参りしたり、食肉センター(=屠場)に行ったり、個人の旅行ではできないことが経験できた。

## 単位会の活動紹介

校区名	主な活動内容
一中	日 時 11月20日(月) テーマ 講演「ギターと共に半世紀、未だ反省期」 音楽家 堀尾 和孝氏
二中	日 時 2月22日(木) テーマ 講演「悩みをお笑いで解決！ 視覚障がいのをりこえて」 お笑い福祉士 安岡寺家 康榮氏
三中	日 時 1月23日(火) テーマ 講演「音から伝わる優しさ」 鍵盤ハーモニカ奏者 吉田 絵奈氏
四中	日 時 7月24日(月) テーマ 映画「旅立ちの島唄」～十五の春～
六中	日 時 7月28日(金) テーマ 講座「いのち・食・家族をつなぐ ～ある精肉店の話」 貝塚市人権協会 会長 北出 昭氏
七中	日 時 2月27日(火) テーマ 映画「ヘレンケラーを知っていますか」
八中	日 時 11月22日(水) テーマ 講演「障がい(自閉症)に寄り添って」 自閉症ミュージシャン 布施 和生氏、母 秋子氏
九中	日 時 11月30日(木) テーマ 情熱の右手ピアニスト 勇気と希望の講演コンサート ピアニスト 樋上 眞生氏
十中	日 時 11月19日(日) テーマ ふれあい広場「世代間交流」と 人権パネル展「ミニ平和展」
阿武野・ 阿武山中	日 時 9月19日(火) テーマ 講演「ホームレスの自立支援について」 ビッグイシュー 吉田 耕一氏
城南中	日 時 11月11日(土) テーマ 人権と福祉のまちづくりを考える会(共催)
川西中	日 時 8月26日(土) テーマ 夏祭り(主催：青少年健全育成協議会) にてパネル展
如是中	日 時 6月30日(金) テーマ 講演「自分らしく生きる～LGBTとして～」 プロボクサー 真道 ゴー氏
冠中	日 時 1月27日(土) テーマ 講演「未来の子どもたちへのメッセージ」 NPO 法人 SEAN 遠矢 家永子氏
芝谷中	日 時 11月12日(日) テーマ ふれあい文化祭 ミニ平和展と手作り紙芝居

\*年間啓発活動の主な活動を抜粋して紹介しています。

人権を考える市民のつどい

# 笑顔でつながる私たち

## — 特別展 笑ってすごせる そんなまちづくり —

平成29年12月8日と9日の2日間、「笑顔でつながる私たち」をメインテーマに市生涯学習センターにおいて開催しました。

1階展示ホールでは市地域福祉計画に基づき、市内各所で取り組まれている支援活動を紹介する特別展「笑ってすごせる そんなまちづくり」としてパネル展と、広く市民から募集した人権啓発作品入選作の展示。また9日には2階多目的ホールでシンガーソングライターの松本隆博さんを迎えて講演「ありがとう」を仕事にしようを開催しました。両日で686名の参加があり、笑顔でつながる大切さを実感した“つどい”となりました。



▲人権啓発作品入選作品を展示

### 講演会 松本隆博さんをお迎えして

#### 「ありがとう」を仕事にしよう ～私からはじまる支援の和～

松本隆博さんは、赤ちゃんの応援隊から中高生の引きこもり、障がいを持った人たちへの支援など社会貢献をテーマに年200回もの講演会を開催。自身の作詞作曲の歌とトークで子どもから大人まですべての人たちが地域で活躍できるには何が大切なのかを訴えておられます。

大学卒業後企業に就職したが退職、その後IT企業を立ち上げたが失敗。そんな折、挫折をしたからわかった“ありがとう”という感謝の気持ちを家庭

や仕事で、そして日常でも生かそうという思いが強くなった。うまくいかない時もあったが、“えがお・すなお・感謝”の魔法の言葉で一生懸命頑張ることができ、2008年にソニーレコードからデビューした。

講演は、人権を大切にするということは、自分がされて“いや”なことは、他人には絶対しないということがすべてである…という事に気が付いたと締められた。

当日は、大切な心を少し楽しく歌われる♪「ココロのつぼ」、大丈夫…そう思えた♪「親友」、自分の心と会話がしたくなった♪「リトマス試験紙」、一人ひとりの存在に気づかされる♪「アーティスト」、そしてアンコール曲の温かい親子のやりとりや絆があふれる♪「すきやき」など、その曲や歌詞が生まれた話を熱く語られた。

力強い中にも優しさがあふれた講演と歌に胸を熱くしながら聴き入り、笑顔と力がわいてきた。

松本さん、ありがとう！



# 人権啓発作品入選者を表彰



▲今年度最優秀賞作品。  
障がい者に関するマーク、ユニバーサルマークなど。  
(下の「知っておきたいこんなマーク」でも紹介しています)

人権週間記念事業の一環として、作文、絵画、標語の3部門で啓発作品を募集したところ、合計2,478点の応募がありました。審査の結果、部門ごとに最優秀1点、優秀4点、佳作10点を入選作として選定し、1階展示ホールにて入選作品の展示を行いました。9日には多目的ホールにおいて、市長から入選者の方に表彰状と記念品が授与されました。また、高槻市「人権擁護都市宣言」の朗読を、入選者の代表と会場に訪れた市民とともに力強く読み上げました。



▲人権擁護都市宣言を読み上げる入選者

## 平成29年度人権啓発作品入選者一覧

### 作文の部

入選	氏名	作品名	学校名等
最優秀賞	奥村 めい	心のボランティア	城南中1年
優秀賞	埴和 穂香	ココロ屋	五領小4年
優秀賞	桶村 明希	福祉学習を通して学んだ事	桃園小5年
優秀賞	吉原 美唯	ネットいじめ	第八中2年
優秀賞	泉谷シルク	福祉とは。	阿武野中2年
佳作	▶大下怜莉(清水小6年)▶原心優(清水小6年)▶宮川陽花(五領小6年)▶村瀬結(五百住小5年)▶三野愛実(五百住小5年)▶滝川瑞夏(第六中1年)▶岡本陽太(第八中2年)▶小西憂奈(阿武野中2年)▶渡邊なごみ(城南中2年)▶中村優花(川西中3年)		

### 標語の部

入選	氏名	作品名	学校名等
最優秀賞	小田 琉音	あいさつは ゆうきをだせる かけごえだ	桜台小3年
優秀賞	竹元 悠人	みんなの心にありますか？ 「やらない勇気」「とめる勇気」	磐手小5年
優秀賞	黒津 香乃	生命は 一つしかない 大切に	桜台小4年
優秀賞	大戸 彩乃	やさしい目 みんなのいいところ 見つけよう	北日吉台小3年
優秀賞	西村香多子	「座りますか？」知らない人の その一言で疲れた足も痛くない	第四中2年
佳作	▶出井彩花(川西小6年)▶村中真優(富田小3年)▶大野心聖(柳川小5年)▶有留亮裕輝(桜台小2年)▶古賀凜大(桜台小3年)▶河村一輝(寿栄小6年)▶俵屋心美(松原小5年)▶佐野せあら(若松小3年)▶橋本美孝(柳川中2年)▶都築静江(一般)		

### 絵画の部

入選	氏名	作品名	学校名等
最優秀賞	澤頭 結菜	バリアフリーマーク	柳川小5年
優秀賞	田中 魁斗	いじめ	柳川小5年
優秀賞	山下 唯仁	明るいふうふ	桜台小6年
優秀賞	前地 智成	無題	郡家小6年
優秀賞	齋藤 舜	みんななかよし	北日吉台小2年
佳作	▶森山友理(阿武野小6年)▶岩谷優花(阿武野小6年)▶池田雷夢(阿武野小6年)▶前田希美(富田小6年)▶今井悠(柳川小5年)▶眞浦楓(柳川小5年)▶水野花音(桜台小6年)▶勝山琴実(桜台小6年)▶熊切ひなた(桜台小6年)▶加藤蒼士(北日吉台小2年)		

## 知っておきたいこんなマーク



### ◀うさぎマーク

耳の不自由な友だちとも楽しく遊べると認められたオモチャについているマーク

### ▶盲導犬マーク▶

目の不自由な友だちとも楽しく遊べると認められたオモチャについているマーク



国際玩具産業協議会 (ICTI 参加 14ヶ国) において「国際共通マーク」として承認された、目の不自由な友だちや、耳の不自由な友だちとも楽しく遊べると認められたオモチャについているマークです。

この共遊玩具は、オモチャ売り場で売られています。『特別な人向けの商品ではなく、みんなのためのオモチャ』=UD (ユニバーサルデザイン) です。この工夫は、子どもたちだけではなく、子育てをする目や耳に障がいのあるお父さん、お母さん、おじいさん、おばあさんにも、優しいオモチャなのです♪

人権講演会

心の豊かさを求めて

講演・サイレントマジックショー  
～聴覚障がいをのりこえ夢と感動を伝える～

「聞こえているのでは？」と思わせるデフ（聴覚障がい者）マジシャン ミスターかわづ氏を迎えて。

と き 平成30年6月2日（土）午後2時～4時

ところ 市生涯学習センター 2階多目的ホール

定 員 当日先着300人



広島 平和記念公園に折り鶴を奉納

2月15日（木）、平和展の来場者や、单位会や市内保育園など高槻市民一人ひとりの平和への願いをこめて折られた折り鶴を、今年も広島平和記念公園に奉納しました。



編集後記

先日、地域の集会所で人権講演会に参加しました。講演内容は少し難しかったが、有意義で深いものでした。

その中でも「木は光をあびて育つが、人は言葉を浴びて育つ」という言葉が印象に残りました。普段当たり前ににげなく言葉で気持ちを伝え、人とつながっている日常生活。様々な情報や流行語が錯綜し、言葉の重さに意識が薄れたようにも感じられます。あらためて自分の言葉は大切に、思いやりの気持ちで伝えていきたいと思いました。

おかげさまで…  
まちづくり協会は  
10周年を迎えます！

平成20年4月に発足した高槻市人権まちづくり協会は、高槻市と連携しながら、市民の自主的な活動をもとに、高槻市全域を対象としてさまざまな人権課題の解決のための啓発活動と、心豊かな社会づくりに取り組んできました。また、市の委託を受け、「高槻市平和展」や「人権講演会」「人権週間記念事業」など企画・運営に携わってまいりました。「一人ひとりの人権を大切に」まちづくりの実現を目指して、今後とも皆さんと力を合わせて取り組んでいきます。

平成20年、  
設立記念講演会  
「人権講演会」の様子



昨年度平和展：  
市民による音楽祭「愛・いのち・平和」  
の様子



平成25年  
9月発行の  
人権情報誌  
アクティブ



中学校区ごとに地区単位会を設置し、地域のさまざまな団体と連携しながら、人権講座や研修会の開催など市民が中心の草の根人権啓発活動によるまちづくりを推進してきました。

講座や  
イベントの情報は、  
ホームページや  
市広報  
「たかつきDAYS」  
に掲載しています

HP、Facebook  
でも情報を  
発信しています



編集発行／一般社団法人 高槻市人権まちづくり協会（☎674-7878）

「あくていぶ」は協会ホームページからご覧になれます。https://www.takatsuki-jinmati.org/

高槻市人権まちづくり協会 検索

https://www.facebook.com/takatsuki.jinmati/